

# こむぎ通信

令和6年4号

収穫は、早いところで6月下旬頃からとなる見込みです。  
コンバイン等の清掃と整備を行い、適期収穫しましょう！

## 1 生育状況（6月10日現在）

地点名	年度	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )
県生観	本年	80.0	8.4	811
十和田市	前年	83.7	9.0	972
相坂	前年比	96%	93%	83%
地区生観	本年	92.2	8.4	680
十和田市	前年	70.3	8.6	420
赤沼	前年比	131%	98%	162%

- (1) 県生育観測ほは、前年より稈長、穂長は短く、m<sup>2</sup>当たり穂数は少なかった。
- (2) 地区生育観測ほは、前年より稈長は長く、穂長は同等、m<sup>2</sup>当たり穂数は多かった。
- (3) 両生育観測ほとも、うどんこ病、赤さび病の発生は少ない。

## 2 収穫の目安

収穫適期は、出穂後の積算気温で830～950℃、出穂後の日数で51～55日が目安となり、十和田アメダスから推測すると5月12日に収穫したほ場で、7月2～8日頃である。早めに収穫の準備を整え、週間天気予報や登熟状況を確認し、収穫が遅れないよう注意する。

表-2 出穂日から積算した収穫適期

出穂日	収穫適期の見込み (気温が平年並の場合)
5月10日	6月30日～7月6日
5月12日	7月2～8日
5月14日	7月3～10日

注：出穂後積算気温は、6月10日までは本年値、11日以降は平年値で積算

## 3 収穫・乾燥の注意点

### (1) 収穫

- ① 収穫が早すぎると未熟粒が多くなり、遅すぎると黒かび病や穂発芽の発生により著しく品質が低下するため、適期に収穫する。
- ② 倒伏した小麦は、品質のばらつきが生じるほか、穂発芽になっている可能性が高く、別の小麦の品質を落とすので、混合させないよう仕分けを行う。

### (2) 乾燥

収穫後に長時間放置すると熱損粒や異臭麦の発生原因となり、品質低下を招くため、収穫後4時間以内に乾燥機に入れる。また、搬入後の速やかな乾燥のため、適正な子実水分での収穫に努める。